

公民館だより なかがわ

第504号

令和6年11月1日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

【単発講座】

びっくりするほど

「料理教室」

簡単！美味しい！ごま豆腐

日 時：11月22日（金）10：00～12：00頃
場 所：中川地区公民館 調理室
講 師：栗野 静枝さん（クッキングインストラクター
野菜ソムリエの店彩食料理「折鶴」のオーナーも
されていました）
定 員：先着 10 名程度（定員になり次第受付終了）
材料費：500 円（つり銭の無いようにお願いします）
持ち物：テフロン加工のフライパン、エプロン、
三角巾、飲み物、ごま豆腐を入れる
タッパーなど（500cc の量が入る大きさ）
対 象：中川地区民
※詳細は、地区回覧チラシをご覧ください。

参加者募集

いざというときの為に！

中川地区食生活改善推進協議会主催 「防災セミナー・作ってみよう！非常食」

日 時：12月6日（金）10：00～12：00頃
場 所：中川地区公民館 調理室
講 師：日本赤十字社山形県支部講師
定 員：先着 8 名程度
材料費：300 円（つり銭の無いようにお願いします）
持ち物：エプロン、三角巾、持ち帰り用容器、
筆記用具、飲み物
対 象：中川地区民
※詳細は、地区回覧チラシをご覧ください。

公民館大掃除を行います！ お手伝いしていただける ボランティアを募集します

日 時：12月11日（水）10：00～12：00
持ち物：古タオル、ゴム手袋等
その他：暖かい服装、また汚れても良い服装で
お越しください。

お申し込み先：中川地区公民館（☎679-2501）

11月・12月 行事予定



11/1(金)	市報、館報 三者会・会長会 一般講座「フラワーアレンジメント教室」 産業まつり豚汁準備（食改）	12/3(火)	三者会、会長会
11/2(土)	～11/3(日) 福祉村文化産業まつり	12/6(金)	食改「防災セミナー」、調理室大掃除
11/8(金)	粋いき倶楽部（職員不在時間あり）	12/11(水)	公民館大掃除 中川地区表彰委員会
11/11(月)	自衛消防訓練	12/13(金)	パソコンクラブ
11/12(火)	～13(水) 会長会研修旅行	12/17(火)	そば打ち教室
11/15(金)	パソコンクラブ	12/21(土)	しめ飾り作り
11/16(土)	主事部・体育部反省会	12/24(火)	一般講座「フラワーアレンジメント」 （募集は次回の館報に掲載します）
11/19(火)	そば打ち教室	12/29(日)	～1/3(金) 公民館休館
11/22(金)	単発講座「料理教室」 ウォーキング教室反省会		
11/25(月)	グラウンド・ゴルフ愛好会反省会		
11/29(金)	市報、館報 防犯協会中川支部研修会		

グラウンド・ゴルフ愛好会（月曜日）
11/6（水）、11、18、25
詩吟教室（火曜日）11/5、19、26

ラージピンポン愛好会（木曜日） 11/7、14、21、28
スポーツ麻雀愛好会（木曜日） 11/7、14、21、28

少年少女球技大会!!

9月29日(日)、中川地区子ども会育成会連絡協議会主催による「中川地区少年少女球技大会(グラウンド・ゴルフ大会)」が開催されました。ようやく暑さも落ち着き、爽やかな空の下ゲームスタート!! 1ゲーム目は力加減に苦戦していましたが、2ゲーム目にはコツを掴んで楽しくできるようになりました。『あ〜もうちょっと』『この辺狙って』とお互いに声を掛け合いながら、楽しくプレーをしていました。『楽しかった〜』『賞がもらえて良かった』とお声もいただきました。お忙しい中お手伝いいただきました役員の皆様、子供たちに付き添っていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

男子
1位 山田 零穂さん
2位 齋藤 進志さん
3位 山口 大地さん
女子
1位 齋藤なづ那さん
2位 鏡 幸姫さん
3位 山口 媛愛さん



【一般講座】「第2回 初心者スマホ教室」



10月8日(火)、ソフトバンクさんより講師2名に来ていただき、「第2回 初心者スマホ教室」が開催されました。1回目同様、デモ機を使用しての講習ですが、今回はスマホの基本の他に、地図のアプリ、カメラの使い方、PayPayなどのキャッシュレス決済のやり方、Google レンズの使い方などたくさん教えていただきました。講師の方の楽しいトークに加え、とてもわかりやすい説明であつという間の2時間でしたが、1度で全部は覚えられません。講習会に何回も参加して、たくさんスマホを使って覚えていきましょう!!



中川福祉村大運動会 開催!

10月13日(日)、「第49回中川福祉村大運動会」が、市長はじめ多くの来賓の方々にご来場いただき、200人以上の地区民が参加し開催されました。昨年は6年ぶりの開催で変更したことも多く、今年は皆さんに意見を伺いながらより盛り上げられるように計画してきました。

初めに「花笠音頭」で盛り上がり、「目指せホールインワン」では子供と大人の部に分かれ、ホールポストにどれだけ近づけるかを競い合いました。子供の部ではなかなか近づけることができず、来年は距離を縮めるなどで改善していきたいと思います。また、「中川 OX クイズ」では、オリンピック関連クイズで盛り上がりました。「綱引きチャレンジ」では、昨年は大人の部だけでしたが、今年は要望により子供の部を設けたことで参加者も増えました。昨年できなかった「紅白まり入れ」は、子供はもちろん、大人も幼少期を思い出し楽しむことができました。最後に「村長とじゃんけん大会」では、齋藤村長と最後の一人になるまでじゃんけんをして、今年は中学生が最後の一人の商品をゲットしていました。

この運動会は、福祉施設の入所者と地区民との交流、また中川地区民同士の協力と親睦を図ることを目的としています。これからも、多くの方々が気軽に参加できる運動会を目指していきたいと思います。

早朝から準備していただいた役員の皆さん、参加していただいた皆さん、本当にありがとうございました。



ウォーキング「みはらしの丘」



10月15日(火)、第6回ウォーキング教室は『みはらしの丘』に行ってきました。神明神社からの蔵王連峰の眺めがとても綺麗でした。植物の話を聞き、木の葉のにおいにふれ、楽しくゆっくりと歩いてきました。天候もよく今年度最後のウォーキング教室の締め括りとなりました。皆さんお疲れ様でした。

【一般講座】「秋の寄せ植え教室」

10月18日（金）、蘭花園の佐藤 淳志さんを講師にお迎えし、「秋の寄せ植え教室」を開催しました。ガーデンシクラメン、サルビア、リンドウ、エリカ、アイビー、ハボタン、パンジー、ビデンス、ミニバラなど 9 種類のお花を準備していただきました。ポカポカ陽気の秋晴れの中、育て方なども詳しく教えてもらい、おしゃべりをしながら楽しい時間となりました♪



中川地区地域推進会議



10月21日（月）、各関係者よりご参加いただき、中川地区地域推進会議が猿倉レストハウスにて開催されました。各種団体の事業報告、各地区の要望等が述べられた後、上山市役所建設課より、各地区に対して回答をいただき、すぐに回答できない件に関しても「詳しい話を聞いて対応していきたい」との言葉をいただきました。空き家問題、鳥獣被害、インフラ整備など、これからも全体で問題等を共有しながら各地区でできる事はもちろんですが、市や議員の方々、県への協力もお願いして早めに対策を講じることが必要となります。

グラウンド・ゴルフ愛好会大会

優勝 木村 豊治さん（甲石）
準優勝 岡崎 正美さん（小倉）
第3位 志田 慶治さん（高野）

10月23日（水）、グラウンド・ゴルフ愛好会大会が開催されました。中川地区グラウンド・ゴルフ愛好会の会員参加者で8班に分かれ、8ホール2ゲームでスタート！！日頃の練習の成果を大いに発揮し、入賞目指し頑張っていました。ホールインワンもたくさん出て驚きました。来年の大会も白熱した戦いが見れるのを楽しみにしたいと思います♪皆さん頑張ってください！！



粋いき倶楽部

10月25日（金）第6回粋いき倶楽部は、秋の一日研修「舟形・尾花沢めぐり」で、少し色づいてきた紅葉を眺めながら、初めに「舟形マッシュルーム工場」を訪問しました。社長さんより栽培方法など詳しく聞きながら、目の前の可愛いマッシュルームを皆さんじっくりと観察し、夕食にとたくさん購入していました！！その後、「徳良湖温泉花笠の湯」へ移動して、美味しい昼食を堪能し、温泉で日頃の疲れをリフレッシュしました。最後に、尾花沢市にある「芭蕉、清風歴史資料館」で館長さんより芭蕉と鈴木清風の出会いを聞きながら、貴重な建物や資料を見て当時の生活や彼らの人柄に触れ、理解を深めることができました。秋の充実した一日となりました。



おらほの中川〈地域の話題シリーズ 第百九十三弾〉

「昭和考、問わず語り（その45）」

大陸への移民は、明治期の朝鮮に始まり、昭和に入り満州国建国に伴い満州にも行われた。

しかし、この開拓移民は、敗戦、ソ連の侵攻に伴い、引揚げ、逃避行の過程で多くの犠牲者を出した。（シベリア抑留、開拓民の逃避行の悲劇については、後述する予定。）

以下、「上山市史」より開拓の歴史を紹介したい。

〈大陸移民の歴史〉

① 朝鮮移民

大陸に対する組織的な集団農業移民が行われたのは、朝鮮移民が始まりだったとされている。

明治四十三年八月、日韓合併とともに、日本政府と朝鮮総督府では、新封土朝鮮経営のため、内地人の定着を奨励し五千戸の移住計画を立て実施に移したが、地価が高く、それに原住耕作者の反対等もあって失敗に終わった。

第一次大戦の終結後、大正八年になり日本の食糧不足から朝鮮米増収が奨励され、再び朝鮮農業移民事業が行われた。この事業では、朝鮮人耕作地を奪わず、未墾地に集団入植させる方針の下、未墾地の多い北朝鮮における土地改良事業に着手した。同時に民間開発会社の誘致も行って、大正十二年から東シナ海寄りの全羅北道の海岸群山府の干拓に着手した。この計画に真つ先に応募したのが山形県自治講習所（写真①）を中心とする農民青年であった。

山形県自治講習所は、大正四年十二月、山形市六日町字寒河江町に設立された。大正天皇即位大典記念事業として企画され、地方自治の振興のため、農村における指導的の中核人物を養成する機関として、国民高等学校方式によって設置された。

初代所長に加藤完治（東京帝国大学農学部卒業、内務省雇、愛知県立安城農林学校教諭などを歴任。写真②）が就任し、単に行政担当者ばかりではなく、広く農村の中堅指導者を養成することに重点を置き、農本主義の精神教育を実践することを強行した。

加藤所長の教育方針は、健全な自作農として農

村の指導的人物を養成することにあつたが、入所してきた中堅農家の二男、三男から「県内には、就農すべき農地が残されておらず、離農するほかはない」と告白され、これに耕地を与えて農民とするには、海外に新天地を求めるよりほかはない、と考えるに至った。

加藤は、早速朝鮮総督府を訪れ、大正十四年三月一日には第一回渡航者十戸を送り出し、翌十五年三月にも十戸を送出し、二十戸の集落を完成させた。更に昭和二年以降昭和七年度までに、新たに江原道平康郡の未墾地に百戸を入植させた。

② 満州移民

昭和六年の満州事変直後、山形県人の一人が満州への「集団農業移民案」を提唱した。提唱した人は、東村山郡大郷村（現山形市）の角田一郎であった。

角田は、日露戦争に出征、シベリア、北満方面を踏破し、福知山連隊（京都府）大隊長の時病に倒れ、現役を退き、郷里に帰る農業に従事していた。

この構想を昭和六年十二月、謄写印刷し政府、軍首脳部あて郵送したが、何等の反応がなかった。そこで角田は、士官学校時代の教官であった陸軍中将・荒木貞夫陸軍大臣に直接談判しようとして昭和七年一月一日上京、同期の参謀本部付の永田鉄山を訪ねて意見を求めたが、政府も軍部も満州農業移民については否定的であると諭された。

しかし断念せず、朝鮮移民を実現し注目されていた、茨城県友部の日本国民高等学校長・加藤完治に「満州移民案」を示したところ、加藤がこれに共鳴し、即日荒木陸相を訪問し角田構想の実現を力説した。

〈角田の満州農民移民構想〉

開拓事業の先駆者であった角田一郎の構想は、次のようなものであった。

○満州は、日本の重要な生命線であり、これを恒久的に経営するには出移さる移民だけで

は不可能、子子孫孫の定着する日本人を送出しなければならぬ。

幸い北満には広大な未墾の沃野が放置されており、ここに開拓農民を送って新構想による日本農村を建設し、日本の食糧・飼料の基地とすべきである。

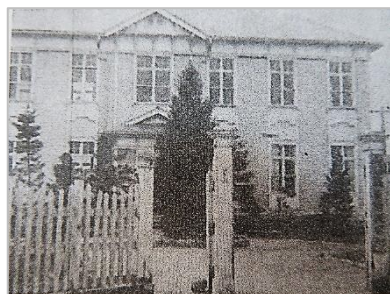
○日本の農業は、過半数が小作農民であり、農業経営は採算が取れない。これを間引きして満州に移民させるか、過小農の二、三男を送出して満州に自作農を創設すべきである。

送出する農民は満州において原住民の指導的役割を果たしえるよう、十分教養を与えるべく訓練された者でなければならぬ。

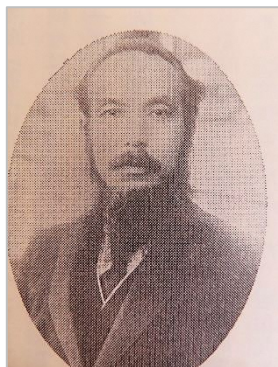
○現地経営は、北満の治安が安定していないので、出来る限り軍隊経験のある既教育在郷軍人より選抜し、一集団を百戸とし自警自営の村落を形成すべきである。将来は水田を造成し、米作を目標とするが、その他、大豆、コーリヤン等の雑穀を生産し、内地農村との物資・人材の交流を図る。その自力経営が可能になるまで、食糧・住宅は政府や公社が援助すべきである。（「上山市史」下巻・現代編より）

（次回は、構想の実現、移民の開始について記述する予定です。）

甲石地区 高橋 正之



（写真①）



（写真②）